

前期学校評価の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別のご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

生徒がよりよい学校生活を送ることができるように、学校では毎年2回、学校の取組について評価し、改善を図るための「学校評価」を行っています。生徒アンケート、教職員アンケート、保護者の皆様にもご協力いただいたアンケート結果をもとに、今後の対策を考え、取り組んでいきます。7月に行った前期学校評価について報告いたしますとともに、後期へ向けて改善につなげていきます。

生徒一人一人が、充実した学校生活を送れるよう教職員一同努めてまいりますので、今後ともご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

() の数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合 (%)
(令和五年度前期→令和五年度後期→令和六年度前期) の推移を表している。

1. 学習について

(1) わかりやすい授業

生徒「授業がわかりやすい」	(84→83→89)
---------------	------------

(2) 活用力の向上

生徒「学んだことを自分の生き方や考え方、社会生活の中で活かそうとしている」	(72→78→80)
---------------------------------------	------------

(3) 読書活動の充実

生徒「朝読書に真剣に取り組んでいる」	(81→81→84)
--------------------	------------

保護者「お子さまと、読書に関わることについて話すことがある」	(34→41→28)
--------------------------------	------------

(4) 学習規律の徹底

生徒「チャイムスタートを意識して行動している」	(86→87→89)
-------------------------	------------

生徒「授業の始めと終わりの挨拶をしっかりしている」	(80→82→92)
---------------------------	------------

生徒「授業では正しい姿勢で授業を受けている」	(59→66→72)
------------------------	------------

(5) 家庭学習の充実

保護者「お子さまには、家庭学習の習慣がついている」	(61→65→62)
---------------------------	------------

<今後の改善策>

わかりやすい授業・キャリア教育の充実

「授業が分かりやすい」という質問項目への肯定的な回答は、今年度6ポイント向上することが出来ました。ICT機器を有効に活用することが日常化しつつあり、生徒もいろいろな視点から学習することが出来き、実感が湧いてきていると感じます。引き続き、どの生徒に対しても分かりやすいと思える授業を実践できるよう努力してまいります。

読書活動の充実については、月 1 回程度クラス別に図書館で行ったり、教職員によるブックトークを行ったりと取り組みを工夫してまいりました。その結果がわずかではありますが、読書への意欲が向上してきていると思われまます。今後さらに工夫し、ご家庭でも本の話がしたくなるような魅力ある読書活動に取り組んでまいります。

また、授業規律の徹底に関しては今回すべて向上しています。授業規律が徹底されると生活にもメリハリがつき、集中力も増していくものと考えまます。今後さらに良くなるよう努力いたしまます。また、家庭学習の重要性も生徒に問いかけ学習効率の向上を目指しまます。

2. 生活について

(1)規則正しい生活

生徒「起床、就寝時間を決めて生活している」	(71→58→65)
保護者「お子さまは、起床時間や就寝時間など、規則正しい生活を送っている」	(71→73→64)
生徒「SNS の時間を使用時間決めて守っている」	(48→47→49)
保護者「お子さまは、SNS の時間を決めて守っている」	(43→40→42)

(2)あいさつ

生徒「気持ちの伝わるあいさつを自分からしている」	(83→84→86)
保護者「鶴中生は、学校や地域で自分から気持ちの伝わるあいさつしている」	(81→77→86)

(3)道徳教育の充実

生徒「友達に対して、思いやりの心で行動している」	(90→93→95)
保護者「お子さまは、友達に対して、思いやりの心を持っている」	(97→99→97)

(4)生徒指導・教育相談の充実

生徒「学校ではいじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごすことができる」	(95→97→95)
保護者「お子さまは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている」	(89→89→90)
生徒「先生は、自分の良いところや頑張ったことを褒めてくれたり認めてくれたりする」	(92→91→90)
保護者「お子さまは、学校で良いところや頑張ったことを褒められたり、認められている」	(85→84→90)

<今後の改善策>

「規則正しい生活」が送れているいる生徒が 6 割強と少し心配になります。学校でも規則正しい生活のメリットを折に触れ、話をしていきたいと思ひまます、ご家庭でもぜひご協力をお願いいたしまます。

「気持ちの伝わるあいさつ」については良い傾向にあります。社会生活の基盤となるあいさつの重要性を伝えながら、一人一人の気分がよくなるあいさつを目指して今後も取り組んでまいります。

「思いやりの心」や「安心・安全な学校」についてはすべての項目が高い水準で安定しているといえまます。全ての項目 100%を目指し、誰もが安心して楽しく学校生活を送れるよう、生徒への声掛けや認めなど「対話」を重視しながら見守ってまいります。

どの学校にも言えることですが「SNSの使い方」について大きな問題としてとらえております。学校でも、たびたび注意喚起を行っていますが、現状はよろしくありません。SNSによる睡眠時間、勉強時間の減少が問題となっております。また、トラブルに巻き込まれる可能性も依然として高い状況であります。引き続き、いろいろな方向から注意喚起を行っていきませんが、保護者の皆様方には学校による注意喚起や外部機関との連携を高めていく試みへのご理解・ご協力をお願いいたします。

3. 生徒会活動などについて

(1) 特別活動の充実

生徒「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加（協力）している」	(71→77→79)
教職員「生徒は、主体的に学校行事に取り組んでいる」	(90→100→83)

<今後の改善策>

生徒会活動の充実

生徒会で自主的に様々な取り組みを行っていることが、少しずつではありますが生徒全体の意識の向上に結びついていると考えます。9月には運動会が生徒中心で開催され、文化祭と大きな行事も10月末にあります。生徒会委員会を中心に積極的に取り組み、参加していくことで充実感を得られるように後押ししていきたいと考えています。また、教職員は生徒による自主的な活動を支援していきます。

4. 学校関係者評価委員会・学校評議員会より

P T A代表、地域代表の方による学校関係者評価委員会、及び学校運営競技会を9月に開催し、前期学校評価に関する分析、今後の改善策等についてご意見をいただきました。

○TETとはどんな取り組みか

→T（鶴来）E（エンジョイ）T（タイム）の略で朝読書の時間を使って、クラスでのグループアプローチを行う時間、簡単な活動を通じてコミュニケーション能力を高めていけたらと取り組み始めました。

○いろいろなことをまずはやってみることが大切だと思う。経験することによって得られることは大きい。子ども達にぜひ、いろいろな経験を味わわせてほしい。

○廊下の掲示物が良かった。いろいろなところで先生、生徒が情報など共有しようとしているのがわかる。「安心できる学校」を作る過程としては、良い取り組みだと思う。

○コミュニティーセンターを積極的に活用してほしい。

※今回も地域や保護者の皆様と協力して子どもたちを育てていくことがとても大切であると改めて感じました。いただきました貴重なご質問やご意見を今後の学校教育に生かしてまいります。誠にありがとうございました。